

平成 30 年度 特別養護老人ホーム事業計画

I 事業内容

第1項 対象施設及び実施事業

- (1) 特別養護老人ホーム高風園（以下、「高風園」）
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、居宅介護支援事業、地域包括支援事業の5事業
- (2) 特別養護老人ホーム高風園「そめやの里」（以下、「そめやの里」）
特別養護老人ホーム事業、地域密着型ユニット型特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、居宅介護支援事業の5事業
- (3) 特別養護老人ホーム明風園（以下、「明風園」）
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業の4事業
- (4) 特別養護老人ホーム菱風園（以下、「菱風園」）
特別養護老人ホーム事業、短期入所生活介護事業、地域密着型通所介護事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業、相談支援事業（障害者福祉サービス）、地域包括支援センター事業の7事業

第2項 実施事業の取組

(1) 基本的な取り組み姿勢

介護保険関係法令の趣旨に従い、各種事業間の連携を密にすることで、個人の尊厳と自立を継続的に支援していく。また、地域包括ケアシステム構築に向けた在宅関係サービスの柔軟な対応と、終の棲家と言われてきた特別養護老人ホーム事業の更なるサービス向上を図ることで、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援体制の構築を目指しサービスの質の向上および地域福祉を推進する。

更に本年度は介護保険法の一部改正を受け、施設運営・施設経営の両側面の視点で業務に臨み、福祉人材の定着と活躍に繋げる。とりわけ、医療保険との棲み分けが進む看取り介護等、施設に求められる専門性の向上に取り組み、介護保険法の趣旨を全うすることに主眼を置く。

なお、本計画の根底にある長期計画についても今年度中に改めて見直し、拠点区分ごとの中長期的な計画と戦略を明らかにする。

(2) 介護予防通所（および訪問）介護相当サービスに関する取組

県内で地域ごとに段階的に導入された本事業については、県内全域で本各的に施行されたため、地域包括ケアシステムを視野に取り組みを推進していく。

- ①利用者が住み慣れた地域で、可能な限り自立した日常生活を営むことが出来る様、必要な日常生活上の支援及び機能訓練等を行う事により、生活機能の維持向上を目指す。
- ②利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努める。
- ③地域住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取り組みを行う者等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

II 各施設における重点的な取組

各拠点区分の現状に照らし合わせ、本年度の課題および成果指標は以下のとおりとする。

○高風園

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの充実 個別ケアの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 専門資格の取得を促進 接遇の向上を図る 個別ニーズと向き合う 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症介護実践リーダー研修に1名、認知症介護実践者研修に職員3名をそれぞれ受講させる。 マナーアップ研修を1回実施する。 看取りケアを促進し、施設内での看取りを5%増加する。
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との交流促進 地域づくりへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア、実習生を積極的に受け入れる。 災害時等の地域との連携強化 地域に赴き、介護の専門性を還元する。 地域の相談拠点として、地域の支え合い活動や、多職種協働による支援を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 年間12回以上のボランティアの受け入れを目指す。 年1回以上、地域住民参加型の防災訓練と、簡単な介護体験講座を行う。 あんしんセンターと協働して地域に介護力を還元する。 地域の協議体会議を毎月開催し、地域の支え合いの創出を支援する。 地域の居場所づくりやボランティアの養成をおこなう。 地域ケア会議を積極的に開催する。
人材確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用に向けた採用・広報活動の強化 仕事に対する勤労意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 就職説明会や専門学校等での採用活動の場を増やす。 階層別研修への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 介護報酬の改定内容を盛り込んだホームページを作成する 全職員が年間最低1回の研修受講を目指す。
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> 適正な収益確保と財政基盤の安定 中長期の施設整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> 営業・宣伝活動の充実を図る。 必要箇所を修繕するとともに長期的な施設整備計画を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間30件以上の病院や居宅介護支援事業所へ赴き、パンフレットと利用料金表を直接手渡し、当園の魅力を伝える。 退去後5日迄の入所を目指す。 エレベーターの更新工事及び大規模修繕を含め、高風園の未来を考える会議内で施設の長寿命化を検討する。

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業（従来）	80床	99.0%	年間平均稼働率
短期入所	8床	75.0%	〃
地域密着型通所介護	18人	14人	1日平均利用者数（※注1）
居宅介護	68件	61件	月平均（※注2）
地域包括支援	—	360件	実態把握のための訪問件数

〇そめやの里

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個別ケアの推進 要介護度の重度化対策 認知症ケアの充実 在宅生活維持 リスクマネジメント(接遇) 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント重視のサービス提供を行う。 情報の共有 個別機能訓練を行う。 専門性の高い知識を身につける。 個別を重視したケアを実施する。 接遇や苦情防止力を向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ケア会議(月1回)における個別ケア重点検討。 24時間シートの検討と変更。 ケア記録の充実。 個別機能訓練による機能維持向上。 人員配置により加算の算定 認知症の受講 実践者研修2名 実践リーダー研修1名 人員配置により加算算定申請 ご家族、ケアマネとの連携。連絡帳の記載内容を充実させ、定期評価時にケアマネへ評価表を添付する。 接遇研修の実施。(年1回/5月)
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との交流促進及び貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への参加と地域への貢献 在宅介護研修を開催する。 災害時の施設の役割を周知する。 ボランティア開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 地域主催の防災訓練及び環境活動へ参加する。(地域日程) いきいきサロンへの協力(月1回) 地域住民を集めた家庭介護研修会を開催する。(年1回/9月) 地域密着型運営推進会議での検討。(2ヵ月毎及び適宜) 回覧板等で広報活動を行う。(月1回)
人材確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用に向けた広報活動の強化 職員の資格取得・勤労意欲を支える。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成宣言 就職説明会や専門学校等への求人活動を行う。 研修の機会を作る。 労働負荷の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有・コミュニケーションについて(提案ノートを新規作成する。) ホームページ更新。 パンフレットの再考と作成(4月及び変更必要時) 養成校との情報交換(適宜) 養成校介護実践コースの受け入れ 職員のキャリア・ニーズに対応した研修受講と資格取得促進。 年次有給休暇を年間10日以上取得 ノー残業ダイの設定。(週1日:日勤は木曜日/シフト制は所属設定)
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> 適正な収益確保と財政基盤の安定 	<ul style="list-style-type: none"> 施設経営に係る営業・PR活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 入所待機者の状況把握(3ヶ月毎) 退所後5日以内の入所。 新規利用者の開拓。(居宅・包括・医療連携室への営業) 運営状況の把握と対策。(月1回施設経営会議:当月資金収支予算)

	・中期施設整備計画	・利用者の実態に合わせた施設整備を行う。 ・経費算定と予算化	書) ・入浴設備を更新し、快適な入浴空間を生み出す。 ・施設設備3カ年計画(上半期) ・施設設備準備積立金等の計画を策定する。
--	-----------	-----------------------------------	--

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業(従来)	30床	98.5%	年間平均稼働率
特養事業(ユニット)	20床	98.5%	〃
短期入所	10床	80.0%	〃
通所介護	10人	9人	1日平均利用者数
居宅介護	117件	105件	月平均(※注1)

○明風園

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの充実 ・介護への先進的な取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の専門研修への積極的な参加を通じて、高い専門的な知識を身に着ける。 ・介護ロボットの試行や実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護実践者研修を2名が受講する。 ・認知症介護実践リーダー研修1名が受講する。 ・県の補助制度等を活用し、現場での実証を通じて実用化を目指す。
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流と憩いの場である「明風園サロンぼるか」を継続実施する。 ・災害時等における地域との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から引き続き「ぼるか」を実施するとともに、地域のニーズに沿った実施内容の充実に努める。 ・毎年1回は、地域住民が参加した防災訓練を行う。
人材確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員採用に向けた採用活動・広報の強化 ・働きやすい職場環境づくり ・外国人技能実習生の受入準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職説明会や専門学校等での採用活動の場を増やす。 ・介護人材育成宣言の継続的な実施 ・有休促進や長時間の時間外労働の是正 ・外国人技能実習生受入れに向けた環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルフェアや専門学校等へ出向き状況把握及び募集活動を行う。 ・平成29年度から引き続き、介護人事育成宣言に掲げる取り組みを実施する。 ・事務所や職員休憩所への啓発案内の掲示やノー残業デーの実施 ・外国人介護人材の受入れに向けた検討を行い、セミナー等を受講するなどの環境整備を行う。
施設経営	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な収益確保と財政基盤の安定 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関へ空床状況を周知するとともに、営業・宣伝活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退所から入所手続きに至る期間として5日間を目指す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期の施設整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な施設整備に係る必要総額を算出し、そのための積立目標額を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設劣化診断の結果を受け、中長期的な施設整備計画を策定する。 ・利用者の快適な生活環境を確保するため、冷温水器の更新を行う。
--	---	--	--

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業（従来）	80床	98.0%	年間平均稼働率
短期入所	10床	75.0%	〃
通所介護	30人	24.6人	1日平均利用者数（※注1）
居宅介護	117件	105件	月平均（※注2）

○菱風園

1. 重点的取組

	重点課題	取組方針	成果指標
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアの促進 ・認知症ケアの充実 ・利用者家族への円滑な苦情対応 ・介護への先進的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の積極的な参加 ・真空調理法を継続する。 ・凍結含浸食の導入 ・介護食の提供 ・介護ロボット導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護実践リーダー研修に2名、認知症介護実践者研修に職員4名受講させる。 ・利用者（家族を含む）への接遇研修の参加 ・研修で学んだ知識を、行事食等で実践する。 ・負担軽減に繋がるロボットの導入
地域福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに合わせたサービス展開 ・地域の福祉人材の育成 ・地域との連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズを探る ・地域包括ケアセンターとの協働 ・ボランティア、実習生を積極的な受け入れと広報強化 ・災害時等地域との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・料理教室を行う ・小・中学校・高等学校での「知っている介護の仕事」の授業の実施 ・困難事例の積極的な受入 ・ボランティアの方に食券を渡す。 ・認知証サポーター養成講座の実施 ・地域住民参加型の研修会の開催 ・年1回は住民が参加した避難訓練の実施 ・災害時の地域住民の受入
人材確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境づくり ・中長期的な職員採用・育成計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働を是正する。 ・資格取得に係る支援を行う ・制度の理解等多角的な視点を持った職員育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日はノー残業ディとする ・研修の参加及び講師依頼の受入をする ・SL・主任・班長への研修の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスの明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人技能実習生受け入れ ・公平な評価制度の充実 ・県の人材育成宣言の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地に赴き、実習生2名を受け入れる ・項目ごとに理解しやすい表現に変更する。 ・管理職・リーダー研修を取り入れる ・取り組みを継続し、徐々にステップアップする。
経営	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な収益確保と財政基盤の安定化 ・安定的な待機者の確保 ・適正人員の配置 ・中長期の整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・退去後5日迄の入所を目指す ・稼働状況の確認及び共有と迅速対応 ・大規模修繕など補助金の申請 ・園内改修の計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・4半期に1度の仮決算の作成と共有及び振り返り。 ・関係機関への営業・宣伝活動の実施 ・園内改修工事 ・外壁の塗装工事 ・地域性を考慮した地域支援の拠点の方向を8月までに決定

2. 数値目標

実施事業	定員	目標値	備考
特養事業（従来）	120床	97.0%	年間平均稼働率
短期入所	8床	70%	〃
通所介護	15人	11.3人	1日平均利用者数（※注1）
訪問介護	—	480回	月平均利用者数（※注1）
居宅介護	185件	166件	月平均（※注2）
相談支援（障害福祉）	—	65件	契約件数
地域包括支援	—	180件	月平均相談件数

※注1：「数値目標」における通所介護ならびに訪問介護の定員・目標値は、介護予防相当サービスの利用者を含む

※注2：「数値目標」における居宅介護の定員・目標値は、ケアマネ1名が月39件（介護1件に対し予防は0.5件でカウント）を基本とした数値。